

TOKYO元気シニア地域活動応援事業(案)

はじめに

- 団塊世代や元気な高齢者(以下「シニア」という。)が、地域活動や社会貢献活動に積極的に参加してもらうには、
- シニアの「自らの能力を社会のために活かしたい。地域とつながりたい」という思い、「自らの持つ経験や知識を活かしたい」という思いと、地域とを繋げる。**シニアの繋がりたい、経験を活かしたいという思いを応援(支援)する。**
 - 企業社会での経験や企業のノウハウを地域での活動に活かし、NPO組織の立ち上げなど、多様な社会参加の形を支援する。

概要

東京都内で、地域活動や社会貢献活動を行い、その活動が都内の広い地域に波及が期待される(波及させたい)活動を行っていて、その活動が地域と連携が図られるNPOまたはグループ(以下「団体」という。)にその活動経費の一部を助成し、活動を応援する。
団体の構成メンバーまたは主な活動スタッフとして55歳以上が3人以上いること。

1 シニアスタートアップ支援

2 シニアチャレンジ支援

3 シニアチャレンジアワード

4 シニア活動支援プログラム

1, 2, 3の選考方法等については別途

1 シニアスタートアップ支援

これから地域で地域活動・社会貢献活動(特に福祉保健分野)に取り組もうとしている団体や同活動を行っている設立後1年未満の団体を応援する。

- 事業実施期間 3年
- 助成期間 1年

スタートアップ終了後は、チャレンジ支援に移行可

- 助成額 50万円
- 助成件数 5件(毎年)

2 シニアチャレンジ支援

すでに地域で地域活動・社会貢献活動(特に福祉保健分野)を行っている(活動が2年目以降)団体で、新たな試みにチャレンジ、またはこれまでの活動をステップアップする場合、その活動を応援する。

- 事業実施期間 3年
- 助成期間 1年(3年間更新可)
- 助成額 30万円
- 助成件数 20件(2年目以降の新規10件)

3 シニアチャレンジアワード
(2年目、3年目に実施)

本事業の実施団体、または区市町村からの推薦団体で、特に顕著な活動、シニアに対して影響力の高い活動を行った団体を表彰する。

- ・グランプリ 1団体
- ・優秀賞 2団体
- ・後援企業賞 2団体

「元気シニア社会参加応援企業(仮称)」と連携する

4 シニア活動支援プログラム

「TOKYO元気シニア地域活動応援事業」実施団体や、それら以外でも地域活動・社会貢献活動を行うシニアの団体を支援、活動をフォローアップする。企業への出前講座等を実施。

- 実施方法
NPOと協働して実施する。

3年間の事業終了後は、区市町村での継続に繋げる

元気シニア
社会参加
応援企業

「TOKYO元気シニア地域活動応援事業」に賛同し、自身の会社を退職したシニアや、現従業員の地域での活動や社会貢献的な活動を支援、また、企業自らが地域社会(特にシニア)と連携して地域活動・社会貢献的な活動を行う企業を「元気シニア社会参加応援企業(仮称)」とし、連携して、シニアの地域活動や社会貢献活動を応援する。

応援
企業
の役割

- 「TOKYO元気シニア地域活動応援事業」の実施団体と連携、協働しての地域活動や社会貢献活動を実践する。
- 「TOKYO元気シニア地域活動応援事業」の実施団体に対して会計や事務処理などマネジメント分野の支援、インターネットツールの使用等、企業のノウハウ提供で支援する。
- 退職者へのセミナーを開催する際に、本事業と連携して、退職後の地域活動や社会貢献活動への参加や生きがいづくり等の講座を実施する。
- シニアチャレンジアワードを連携して実施する(副賞の贈呈等)。

TOKYO元気シニア地域活動応援事業イメージ図



シニア・地域・行政・企業が連携することで、活力ある超高齢社会を実現